

【安心・元気・未来創造ビジョン2024（芸術文化分野）における10年後の目指す姿】

- ◆芸術文化があらゆる分野と融合することで、観光誘客などにつながり地域の元気が創出されている。
- ◆文化センターや美術館を中心に、誰もが楽しめる企画展や催しが開催され多くの県民で賑わっている。
- ◆地域の人々が、文化財・伝統文化を守り、継承するとともに、まちづくりや地域活性化に生かしている。

芸術文化を活かした地域の元気創出

○別府市を拠点とした取組

- ・アート作品の制作・設置（8作品）
- ・来場者と作家との対話型展示販売会の開催（Art Fair Beppu）
＜R7年度実績＞
来場者：3,755名（3日間）



▲アート作品『Space II』



▲Art Fair Beppu

○地域の顔づくり

- ・佐伯市の大道芸イベントを支援
- ・回遊性や地元飲食店との連携について伴走支援者から助言

集客：11,438名（2日間）

○国東半島芸術文化祭2025

（国東市、豊後高田市）

- ・ラバーダックプロジェクト等
（世界農業遺産を象徴する「ため池」に巨大なアヒルを浮べた独創的な企画）

来場者数：76,600人（10/11～11/30）

【課題・論点等】

- ・産業の高付加価値化
- ・各地域の芸術文化の継続・発展

芸術文化ゾーンの活性化

○まちなかアートフェスタ

- ・県内の大型イベントに合わせて、多彩な芸術文化イベントを開催
大分駅前：音楽祭フィルムコンサート
商店街：高校生による吹奏楽
OPAM：交響楽団の指揮者体験

＜R7年度実績＞

参加者数：29,527名（大分市のみ）

出演者数：400名（大分市のみ）



▲大分駅前



▲セントポール中央町



▲OPAM



▲ガレリア竹町

○関係団体との連携

- ・英国近衛軍楽隊による竹町商店街のパレード

【課題・論点等】

- ・JR大分駅や大分市中心部商店街との周遊促進
- ・県内各関係機関との連携強化

文化財等の保存・継承と魅力発信

○デジタル化による保存と活用

- ・歴史博物館と高校が連携した文化財レプリカの作成
- ・桜八幡神社の神像（国東市）の作成・シンポジウムの開催

○大友宗麟生誕500年（2030年）に向け関係市と連携した取組

＜R8年度予定＞

大分市、臼杵市、津久見市での巡回展
ボランティアガイドの育成
文化財カードの作成・配布



文化財レプリカの展示



シンポジウム

【課題・論点等】

- ・後継者・団体の育成支援
- ・生誕500年に向けた機運醸成